

【栃木】「自分のやれることは出し切った。悔いはない」と語るのは、全国トラックドライバー・コンテストの4トン部門に出場した、宮本運輸（宮本一成社長、栃木県那須塩原市）の和気隆浩氏（39）。宮本社長からの誘いをきっかけに出場し、初出場ながら平均以上の成績を収めた。

「学科の勉強に苦労した。仕事と両立しながらだったため、業務を終えて帰宅してから1時間の勉強時間を設けた」。適性診断課の木野一弘氏にオリジナルの問題集を作ってもらい、それ

全国ドラコンに出場した
宮本運輸 和気 隆浩氏



全国ドラコンの出場ゼッケンを持つ和気氏

基礎立ち返るきっかけに

を解いていたという。画像を使った解説など、効率的な勉強につながる協力もあった。

学科だけでなく、実技でも手厚い支援を受けた。宮本氏の紹介で、全国ドラコンに出場した選手がいる会

社と合同練習を実施。「実技の練習には広い倉庫が必



要だったが、それも借りてもらえた。バックスローラムが苦手で、かなり練習した」と振り返る。

ドライバー歴は8年で、

会社から手厚い支援

普段から「時間に追われる仕事だからこそ、落ち着いて安全に業務を行う」ことを心掛けていた。「今回のドラコン出場が、基礎に立ち返るきっかけになった。学科試験対策のお陰で、普段あまり見ないものも含めて標識の意味を再確認でき、実りある参加となった」と総括する。

「自分としてはかなりできていたのに、実際には入賞できず、全国の壁を感じた。また出場できる機会があれば、より攻めた姿勢で臨み、10位以内を目指したい」（三田落）